



学校だより

12月号

「りんかい」

令和7年12月1日(月)

江戸川区立臨海小学校

校長 西沢 盛和

子どもたちの優しい行為

校長 西沢 盛和

先日、臨海コミュニティ会館の館長さんから嬉しいお電話をいただきました。

「おじいさんが歩道で血を流して倒れているのを2年生の女の子が報告に来てくれたので、すぐに救急車を呼ぶことができ、おじいさんが助かりました。この女の子の行動がなければ、おじいさんがどうなっていたかわからない状況でした。」と館長さんの感激している声を聞いて、電話を受けた私も大いに感激してしまいました。2年生の機転の利いた行動がおじいさんの命を救ったのです。大変素晴らしいことです。人に対する優しい気持ちがこのような行動を起こさせるのだと思います。

また、別の2年生の女の子は、上級生の男の子同士の善くない行為を見てしまい、それをそのままにせず、自分のクラスの2年担任に知らせました。その行為のおかげで学校として対応することができ、上級生同士の大きなトラブルに発展することなく、双方の保護者にも連絡を取り、無事に解決することができました。これも大変素晴らしいことです。

これらの行為の優れた点は、「なんとかしなくちゃ！」と思う優しい気持ちと、信頼できる大人に知らせる行動力です。ほとんどすべての子どもたちは、倒れている人を見れば「なんとかしなくちゃ！」と思う優しい気持ちを持っていると思います。善くないことをしている人を見れば「なんとかしなくちゃ！」という善意の気持ちが湧いてくると思います。しかし「なんとかしなくちゃ！」と思っても、自分一人の力では何とかできることはそうそうありません。ほとんどの子どもはそこであきらめてしまいます。子どもだけではありません。大人だってそうです。何とかしたいと感じても、何もせずに見過ごしてしまいがちです。だからこそ、この子どもたちの行為、信頼できる大人にすぐに知らせるという行為は素晴らしいのです。

少し前には、こんなこともありました。4年生の児童が2人校長室に来て「1年生の〇〇さんと〇〇さんが道に落ちているゴミをきれいにそうじしていたので、ほめてあげてください。ほうきとちりとりをわざわざ家に取りに行くて、そうじしていたんです！」と知らせてくれました。私はすぐに1年生の教室に行って2人の児童を称えました。そして、知らせてくれた4年生も称賛しました。善い行為は人を良い気持ちにさせてくれます。優しい気持ちになります。そして、良い気持ちは人と一緒に分かち合うことで、もっと大きな良い気持ちになると思うのです。優しい気持ちも伝わっていきます。1年生の小さな善意が4年生のおかげで大きな優しい気持ちになったように思います。子どもたち同士で善い行いを認め合うことで、優しさは大きく広がっていきます。子供だけでなく、子どもたちの小さな善意を見つけたら、周りの大人も一緒になって大いに称えてほしいと思います。

これらの子どもたちの優しい行為は心から嬉しいものです。もっともっと臨海小に優しさが満ち満ちていくように、子どもたちの持っている優しさを、子どもたちが安心して行動に移すことができるようなより温かで、より優しい臨海小にしていきたいと思っています。

地域行事や地域のイベントに ご協力をお願いいたします

○ふれあいニューイヤーマラソン大会 令和8年1月18日(日)

参加する子どもたちにはぜひとも頑張ってもらいたいと思います。学校でも体育の授業で持久走に取り組みます。

運営ボランティアにご協力くださる保護者の方々には心より感謝申し上げます。よろしくお願いいたします。

○あいさつ運動標語コンクール募集 〆切 令和8年1月13日(火)

ぜひご家庭でも標語づくりにご協力をお願いいたします。学校でまとめて応募させていただきます。

令和7年度 12月 行事予定 授業日18日

[illegible]